

咸臨丸の眠るサラキ岬

サラキ岬には、咸臨丸終焉記念碑や咸臨丸モニュメントの他、毎年5月には咸臨丸誕生の地オランダから贈られたチューリップ数万球が咲き誇り、チューリップフェアや物産展などのイベントが行われます。

小高い丘からは津軽海峡や函館山、遠く青森県下北半島までが眺望でき、道ゆく人の目を楽しませています。

多くの町内外の人々の手によって、歴史と自然が織りなす道南の交流観光拠点づくりがすすめられています。



咸臨丸のものと推定される錨

咸臨丸子孫の会
幹事教授方頭取

佐々木寛

榎本艦隊へと勇躍
その身を投ずるも
清水港に流されて
襲撃されし咸臨丸
最後の務め
蝦夷地開拓の輸送船
木古内町は泉沢
荒波吼ゆるサラキ岬に
巖に碎けし咸臨丸
明治四年の秋のこと
ああ、栄光と波乱
悲劇の十四年
永久に讃えんその雄姿
安らかに眠れ 咸臨丸

終焉記念碑と史跡案内板



咸臨丸モニュメント

